



## 香港で日本人に福音を伝える使命

アジア・アウトリーチ香港・ミニストリーコーディネーター **ルイス・ホ**

私はルイス・ホ（何亮志）と申します。香港にあるレストランの経営者で、今年48才になりました。18才の時に日本へ留学する夢が叶い、この留生活の4年間は、私の人生が変わるほど、とても充実した日々でした。そして15年前にクリスチャンになりました。2年前に私の人生の中で留学の経験は神様がアレンジしてくださったことだと気づき、更に日本の宣教への思いが心から湧き出して来ました。

そのような中で、「カイロス」という宣教を教えるコースを知ったのは今年の1月でした。「アジア・アウトリーチ・ホンコン」を訪ねた時、副主事が「宣教について理解したければ、カイロスに申し込みなさい」と勧めてくださったのです。それまで「カイロス」のことを聞いたこともありましたが、申し込みを行い、四日間しっかり学び、コースを修了する事が出来ました。今まで私がこのようなコースを受けるなどと考えもしませんでした。コースを受けるに至ったのは、きっと神様の摂理に違いないと確信しました。

コースは毎日午前9時半から午後の5時半まででしたが、賛美礼拝、フェローシップ、祈りなど様々で、時間はとても速く感じられました。コースを受けるまで聖書の核心は「神様の愛」であり、それしかないと思っていました。しかし、コースから学んだのは「神様の愛」の他に「神様が全世界の人々のために福音を広げたい」という思いです。世界の全ての部族、人々に対する神の愛です。それは非常に印象的でした。

コースの内容は深い神学でしたが、とても分かりやすく教えていただきました。何度も感動して心が震えました。特に、大阪のある教会の証しをDVDで見た時は、非常に感動しましたし、宣教について新たな勉強が出来ました。

自分は宣教師にはならないので、特にこのコースを受け

る必要はないと考えている方もいらっしゃるでしょう。私自身もすぐに宣教師になると、考えているわけではありません。しかし、カイロスを受けるだけで、クリスチャンの義務と責任、それからイエス・キリストに頂いた大宣教命令を改めて理解できるコースだと分かります。人にはそれぞれの限界があって、神様ではありません。私に出来る事はわずかですが、神様はそれを理解して導いてくださったと思っています。いま私は神様と一緒に歩んで行く実感があり、非常に安らかな心境です。

カイロスの修了後は更に宣教について理解し、また、日本宣教に対する決意もできました。けれども、現実的にすぐ日本へ渡り宣教することはできません。その代わりに香港にある日本人教会へ行く事は可能です。私が今出来ることは、これからできるだけ日本人教会で賛美し礼拝する事です。まずは香港におられる日本の方々に伝道できるよう、自分自身、勉強しながら神様に頼って行きたいと思っています。この思いは神様からの使命だと確信しています。私は、宣教の思いがあると同時に自分の無力さも感じています。といいますのも、私がコースを受けてから既に半年もの月日が経ってしまいました。職場で日本人と触れ合う機会が多々ありますし、私が経営する和食レストランの利点も十分に生かして行けるはずですが、但し、全て自分の思いや自分の力だけでミッションを行うのであれば、そこには無理があると思います。ですから、現在は着実にステップを進めて行きたいと考えています。

福音宣教は短期間のミッションではなく、一生の人生を生かして歩んで行く、神様から託された大きな使命であります。神様の思いを理解出来るだけでも本当に感謝の気持ち一杯で、これからイエス様に頼って日本の方々に福音を伝えることが出来るように、神様に導いていただくように期待しております。

### 迫害されているクリスチャンのために祈ろう！ [hakugai.org](http://hakugai.org)

○中国は1949年10月1日に毛沢東のもと共産主義の国家になってから70周年を迎えます。一方1997年に英国の植民地から中国本土に返還された香港では、抗議が大きく広がりました。そのような中で、ルイスさんのような方が香港で日本人に伝道するパッションが与えられたことを感謝します。私たちは、この歴史をご支配くださる神様の御手がどのようになっているかを祈りながら、日々見せていただく立場に置かれています。

○一方中国では、キリスト教会及びクリスチャンに対する迫害が厳しくなっています。集会に集うことや様々な制限が加えられています。  
○昨年、ガンの発見によって来日がキャンセルになりましたマレーシアのスタンレー・ジェラード師が今年11月に来日して、諸教会を訪問して下さることが決まりました。日本を愛し、日本のリバイバルを信じてくださるスタンレー師に感謝します。

編集後記



アジア・アウトリーチ・ジャパン  
<http://www.eonet.ne.jp/~aojapan/> E-mail: [aojoffice@gmail.com](mailto:aojoffice@gmail.com)

〒607-8111 京都市山科区小山西町7  
Fax 075-791-3488 Tel 075-595-0299 郵便振替 00850-0-95046  
7 Koyama Minamimizochi, Yamashina-ku, Kyoto 607-8111

AR228

2019年7月~9月号

# アジア レポート



## キリストのからだにおいて神様に仕える

—マレーシア

アジア・アウトリーチ・香港 **香港で日本人に福音を伝える使命**

表紙写真：ネパール  
撮影：吉田 隆



# アジア・アウトリーチの心 キリストのからだにおいて神様に仕える

アジア・アウトリーチ・マレーシア 理事 **ピーター・ウー**

「それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良い管理者として、その賜物を用いて、互いに仕え合いなさい。」 (Iペテロ4:10)

救われた者が全員、宣教地に遣わされて宣教師となる召しを受けているわけではない。私たちはさまざまな形で神様に仕えることができるのでそれぞれが神様の招きに従順でなくてはならない。「私は主に仕えるには年を取りすぎてしまった！」と良く耳にする。これは真実ではない。なぜならば、神様はゴリアテを倒すために、若くてまだ人生経験にも乏しい羊飼いの少年を用いることができたからだ。年齢は関係がない。もしあなたが用いられたと願うならば神様はあなたを大いに用いることができる。重要なのは「用いられたい」という主への心の願いなのだ。

ある者は、足を用いて主に仕え、宣教師のように神様のみことばを伝えるべく宣教地で働く。また別の者は、宣教地にいる働き手を支えるために召されている。支援、特に経済的な支援は宣教地で働く者の重荷を和らげることになる。それは彼らと彼らの働きに必要なものを満たす助けとなるからだ。また、ある者は、宣教地の働き手を祈りによって支え、とりなす者として召されている。どのような召しであれ、神様の招きに応じて主の羊を助ける者を主は必ず祝福して下さる。

クリスチャンの組織はどれもとりなしの祈りを必要としている。私たち、アジア・アウトリーチにも、献身的な祈りの勇士たちのグループが与えられている。これは大きな祝福だ。私たちは彼らに祈祷課題を送り、彼らは月一回集まって働きのために祈りをささげている。さまざまな具体的な必要のために祈るとともに、神様のみこころが悟られるようにと、熱心に祈っている。

とりなしの祈りは戦いである～神様がもってられる戦いの計画のカギを握るのが祈りだ。しかし、私たちの戦場は地上に属するものではない。エペソ6:12には「私

たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるものもろ

の悪霊に対するものです」とある。祈りはこの霊的世界における戦いを意味している。霊的世界において、私について、私の家族について、私の友について、私の国について、そして私の働きについての勝敗が決まる。聖霊は、祈りに対する重荷を私たちの心に与えて下さる。「わたしは彼らを、わたしの聖なる山に連れて行き、わたしの祈りの家で彼らを楽しませる。彼らの全焼のいけにえやその他のいけにえは、わたしの祭壇の上で受け入れられる。わたしの家は、すべての民の祈りの家と呼ばれるからだ。」(イザヤ56:7)

祈りに重荷を感じる兄弟姉妹が与えられ、私たちのために祈ってくれていることは本当に大きな恵みである。宣教地にいる働き手や宣教師たちの多くは、彼らのために祈っている兄弟姉妹に会ったことがない。それでも、定期的集まって献身的に祈ってくれていることを聞いてとても慰められているのだ。彼らの祈りは月一回に限ったことではない。緊急的な必要が生じた場合、すぐに祈祷課題を送るのだが、それを受け取ったことを祈りのグループは早急に返事してくれている。彼らの祈りによって神様のみわざが現わされている。

私たちは、力あるとりなしは神様の心と一致するところから始まると信じている。神様のみこころにかなう祈りは神様の答えを得る。力あるとりなしは信仰による行いであり、とりなしは「芸術」である～特定の状況や人のために、神様の心と私の心を一致させるという芸術だ。二人以上が集まる所に一致の力が現わされる。「ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしのその中にいるからです」(マタイ18:20) とりなし手は、人々が解放され、救われ、いやされ、自由にされて欲しいという強い願いと重荷をもっている。しかし、その祈りが答えられるのは自分たちの力ではないことをも知っている。とりなし手として、私たちのために非常に忠実に祈っている兄弟姉妹を特に覚えて敬意を表したい。

もう一つのグループにも感謝を表したい。それは、機関誌や手紙の配布を手伝ってくれている忠実なボランティアグループだ。女性たちによるこのグループは、影で多くの奉仕をして主の愛について多くのあかしをしている。ボランティアグループによる奉仕がなければ、機関誌の配布は期日通りに進まない。ボランティアグループを構成してい

るのは、主を愛している、50代から80代の女性たちで、彼女たちはいつでも主に仕える方法を考えている。彼女たちが集まると、まごころ



こめて機関誌を丁度良い封筒に入れて、一日かけて発送作業を行っているのだ。ある婦人は杖をついて来てくださり、自分に与えられた責任を必ずやりとげると決めている。

この作業の中にもすばらしい交わりが持たれている。互いからの助言を得るために問題を分かち合っている。そこにはたくさんの笑いもある。私たちは彼女たちによって大きな祝福を得ていることから、この場をおかりして敬意を表したい。ボランティアの方々、私たちアジア・アウトリーチを助けるために時間を献げてくださって、本当にありがとうございます。主に仕える上で、年齢はそれほど大きな問題ではないと思います。神様は心をご覧になられるので、仕えたい心があれば、神様はみなさまを用いて下さいます。神様はあなたがたに対して、今でも、場所と目的を持っておられます。「彼らは、主の家に植えられ、私たちの神の大庭で栄えます。彼らは年老いてもなお、実を实らせ、みずみずしく、おい茂っていきましょう。こうして彼らは、主の正しいことを告げましょう。」 (詩篇92:13-15a)

皆様にも、年齢にかかわらず、果たすべき目的が与えられていることをご存じだろうか。神様は皆様に霊的な賜物を授け、力や情熱や召しを与えておられる。もしこれにつ

いてまだはっきりしていないのなら、ぜひ、発見していただきたいと思う。「このような時に」なぜあなたが存在しているのかを、神様は知ってほしいと願っておられる。年

をとってしまって、人生における召しはもう過ぎ去ってしまい、これからは別に何もないと感じておられるだろうか。新しいチャンスや良い機会は、最近救われた人や若い人たちにだけ与えられていると思われるだろうか。覚えておいてほしいことがあります。神様に仕えたいと願っているあなたにとって、あなたは決して年齢を重ねすぎではないのです。神様は心を見て喜ばれるからです。神様がさまざまな機会を与えてくださるよう、一緒に祈り求めようではありませんか。

「今、ご覧のとおり、主がこのことばをモーセに告げられた時からこのかた、イスラエルが荒野を歩いた四十五年間、主は約束されたとおりに、私を生きながらえさせてくださいました。今や私は、きょうでもう八十五歳になります。しかも、モーセが私を遣わした日のように、今も壮健です。私の今の力は、あの時の力と同様、戦争にも、また日常の出入りにも耐えるのです。どうか今、主があの日約束されたこの山地を私に与えてください。あの日、あなたが聞いたように、そこにはアナク人がおり、城壁のある大きな町々があったのです。主が私とともにいてくだされば、主が約束されたように、私は彼らを追い払うことができましょう。」 (ヨシュア記14:10-12)

## AOジャパン



**アジアアウトリーチジャパン  
を応援して下さい！**  
AOJ 評議員 JEC八尾福音教会  
札場 聖

「しかし、信じたことのない方を、どのようにして呼び求めるのでしょうか。聞いたことのない方を、どのようにして信じるのでしょうか。宣べ伝える人がいなければ、どのようにして聞くのでしょうか。遣わされることがなければ、どのようにして宣べ伝えるのでしょうか。『なんと美しいことか、良い知らせを伝える人たちの足は』と書いてあるようにです。」(ローマ10:14-15)

アジア・アウトリーチ・ジャパンに関わり始めて今年で4年目を迎えました。アジアの色々な地域で起こっている主の御業を知り、アジア・アウトリーチ・ジャパンのなすべき使命、アジアにおける手を差し伸べたい働きの多い事に心を動かされています。今年に入って、アジアの国、

タイと韓国に行く機会が与えられました。タイの奥地に入って行った時には、現地に行かなければ理解することの出来ないローカルな内容、そして歴史を知りました。同じく韓国においても、実際に現地の問題を直接聞き事によって、日韓関係もそうですが、韓国の中にある具体的な問題を聞かされました。アジアの国々に繋がる事によって、具体的にタイムリーな祈りを持って執り成すことが出来る事を心から喜んでいきます。

アジアにお生まれになった主は、今も特にこのアジアを覚えておられ、目を留めておられます。

「日本からアジアへ」私たちに何が出来るのでしょうか。アジア・アウトリーチ・ジャパンは、聖霊の声を聞きながら、主の宣教の働きに仕えています。ぜひとも、この冊子を通してアジアを覚えて頂き、主にあって心を合わせてお祈り頂ければ幸いです。また、アジア・アウトリーチ・ジャパンの働きを、献金を持って応援して頂けるなら幸いです。私たちはチームです。

『なんと美しいことか、良い知らせを伝える人たちの足は』。